



謹賀新年

祝 法学部・硬式野球部OB セガサミー 外野手 赤堀大智さん 横浜DeNAベイスターズ 4位指名・入団

立正大学校友会プレゼンツ 2012 IN KUMAGAYA

エキスパートが語る 本学文学部卒業 脚本家・小説家 映画監督 高橋美幸さん 金子修介さん(II)

(祝立正大学開校140周年記念 立正大学校友の集い・2012 IN KUMAGAYA 特別講演会採録)

立正大学校友会報 たちばな TACHIBANA ばな No.16 2013.1.1 「モリスト×エキスパート」を育む。 立正大学 2012 開校140周年

発行所 ●立正大学校友会 発行人 ●山崎和海 編集 ●立正大学学長室校友課 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 電話 ●03 (3493) 6673 http://www.ris.ac.jp E-mail: alu@ris.ac.jp

お二人は映画『プライド』『ほかも』でタッグを組んでいらつしやいます。それぞれ監督、脚本家としてどんな役割をされたのですか？

金子 監督は全行程の責任を持つのが仕事です。どんな場面もOKかNGかの判断を仰がれる大変さがあります。高橋 それと比べ、脚本家は「設計図を書く人」と言えます。ストーリーはもちろんです。コンセプトやテーマの設定、どのクライマックスを設定してどこで感動させるか、それに至るにはキャストをどうするか、シーンは、会話は、と細かな部分まで、携わる人に共通認識を持たせる仕事です。自分が描いた世界はオリジナル・フィクションなので、事の成否は、それをどう説得できるかにかかっています。一人で書く場合、自分だけの考えに偏ってしまつことも……。基本的には、完成形を出す。ようになっています。金子監督は、とても面倒臭いいい根気のある人だと思います。こちらの疑問に対しては、わからないならいいや」ではなく辛抱強く答えを探してくださるし。

映画監督としてのスタンスと脚本家としての関わり方



金子修介さん 映画監督 1955年6月東京生まれ。東京学芸大学卒。1984年横浜映画祭新人監督賞受賞。1988年「1999年の夏休み」で横浜映画祭監督賞受賞。1991年「就職戦線異状なし」、1995年「ガメラ・大怪獣空中決戦」でブルーリボン監督賞受賞。多数の怪獣映画を監督の後、2006年「デスノート前後編」でリュウセル映画祭観客賞受賞。 高橋美幸さん脚本映画『プライド』(2009年)と『ほかも』(2010年)を監督。

高橋 監督の指示はわかりやすいですよ。漠然としたものではなく、「ここをどうできないかな」という感じで。監督からも驚かされて、高橋さんはどんな方ですか？

金子 信頼関係を築くまでは大変だったというのが実感です。1つの台詞のために1時間の言い争いをしたこともありました。「ほかも」のフェーストシーンに「秋休み」という言葉が出てくるのですが、そもそも大学に「秋休み」なんてないだろう、ということ。その後別の台詞でぶつかり合いました。そうしたケースでは、脚本家が納得しない言葉を入れるのはいいかと悩むところ。善し悪しの判断やどうあるべきかなどは、お互いの生き方にも関わってくるからです。

相互理解と信頼関係がさらに良い作品づくりに

その『ほかも』では、原作にないシーンもあったそうですね。そうしたものを考える必要はあるのですか？

高橋 プロデューサーから言われたのが「高橋っぽい作品に」ということでした。それまでこちらからという原作に忠実な脚本を書いていました。「ほかも」の「は、女性目線の恋愛映画にしたい」との思いから、そうした感覚で加筆した部分があります。監督は別の捉え方をしています。

金子 僕は男の10年を描きたい思いがありました。原作では「長い間」とあるのですが、19歳から29歳で男がどう変わっていくかといったような。男性目線の客観性が合致したように思っています。高橋 最近では、原作者の力が強くなっていきます。かつて、「根底に流れているもの、テーマやトーンが同じならいい」と聞いていたのですが……。そのテーマやトーンをどう活かすかは、叫びの呼吸、ですかね。ただ、その呼吸も原作に対する自分のスタンスによって大きく変わってきます。

『三たびタッグを組まれた作品づくりも進んでいるようですが……』

金子 女子高生にスポットを当てた作品で、ちょっとエッチな内容も……。高橋 女子高生は監督の得意分野ですから(笑)。純粋な話の中に性についても盛り込んでいく感じ。この作品は、スタートの時点から監督というふうな話ができたので、かなりスムーズに進められたと思います。

エキスパートが語る 『ほかも』の作品



高橋美幸さん 脚本家・小説家 1963年静岡県生まれ。立正大学文学部国文学科卒。在学中は学生新聞会・旧第1部第20回橋花祭(きつさき)実行委員会に所属。『第24回国民文化祭・しずおか2009』静岡県国民文化祭企画委員、他。1992年「野口英世」(吟遊社出版)原作、フジTV「美少女H」第20話「死んでいい」(1998年)脚本をはじめ、映画「きみのためにできること」(1999年)・「プライド」(2009年)・監督「金子修介」・「ほかも」(2010年)・監督「金子修介」脚本など脚本家・小説家として活躍中。

MC: 城向あかりさん

『一本の作品を完成させていくなかで、それぞれの分野のエキスパートが力を発揮してはじめて良い作品に仕上がるというところが、話の随所にあっさり。そんなエキスパートのお二人がこれまでに影響を受けた作品、印象に残っている作品を教えてください。』

金子 中学生のころに観た『サンセット大通り』が衝撃的でした。監督はヒラリー・ワイルダーで、巨匠と呼ばれたセルシル・B・デミルが映画監督役で出ていたのが格好良かった。映画監督をめざすきっかけにもなりましたが、高橋 作品だけではなく人物ですが、ちょうど脚本家として悩んでいる時期に、深作欣二監督の2時間ドラマのプロットづくりを手伝ってほしいと声をかけていただいたんです。芸術家が殺人を犯すという内容で。そこで話しているときに私が「普通の主婦が……」と口にしたところ、深作さんから「普通って何だ？ 普通の定義を述べろ」と。そんな話に終始してしまつたのですが、今までにない面白さがありました。ディテールを重ねる楽しさとは異なる脚本づくりの楽しさでした。

金子 時代劇を撮ってみたいとは思っています。忍者なんかが出てくるようなことをおぼろげに考えています。高橋 漠然ですがコメディです。人情ものはセオリーがあるのでやりやすいのですが、やりたいのは辛口コメディやシニカルコメディです。そこに変ったキャラクターの主人公が登場させて……なんてことを考えています。高橋さんから「仏教をテーマにした映画を撮って出た方がいい」というリクエストも飛び出すが、最終リラックスマス最終幕しました。



卒業生対談

「ルポライター・作家・脚本家」

昼間たかしさん

文学部史学科卒業



左から、映画監督の増田俊樹さん、(故)若松孝二さん、昼間たかしさん

昼間たかし(本名・近藤賢)
1975年岡山県生まれ。ルポライター・作家・脚本家。立正大学文学部史学科卒業。週刊誌・実話誌などを中心に取材・執筆活動を行う。脚本作に「おやみんアンテナ」賞之人権賞、賞乏人逆襲賞(監督・増田俊樹)。2009年ゆづり国際映画祭・フォーラムシアター部門招待作品)、近著に「地域批評シリーズ これからの大田区2」など。



マイクログラフ社にて撮影。校了後の徹夜明けの様子

尾上健太郎
立正大学経営学部経営学科卒業。複数の出版社を渡り歩いた後、マイクログラフ社に入社。現在は「地域批評シリーズ」の編集が主な業務。

尾上健太郎さん

経営学部経営学科卒業

尾上 この度は先輩で、尊敬するルポライターの昼間さんと対談で、母校の会報誌に掲載いただけるとは…。

大学時代の思い出

尾上 それは私も共感しますよ。立正大学も学部によっては男女比9...1なんてザラですわ。学内で彼女が居るという学生はほんの一握り、そういうヤツは早く帰ってデートするじゃないですか。だから放課後のキャンパスは男ばかり(笑)。

尾上 いや、田舎の生まれだったもので、ちょっと恥ずかしい話ですが単純に東京に憧れていました。ついでに言うと大学に入ると、すぐに彼女ができて、今風にいえば「リア充」な毎日過ごせるもんだと妄想してはいたんですが、それもナシ。だいたい可愛い子は同級生なら男前。今で言うところのイケメンが、先輩ならサークルの中心メンバーとかが早々と手をつけちゃうわけで、スボラな私は出遅れてしまいました。

尾上 サークルやゼミなどではどんな活動をしてましたか？
尾上 入学してから考古学研究会に入会して、そこから研究会連合本部に派遣されて2年生の時は情宣局長...。華やかさのカラマもなかったですね。考古学研究会は、ほとんどが文学部史学科の学生で占められていて、3年生になったら考古学ゼミも、ほとんど同じ顔が。基本的には、考古学研究会は将来の発掘現場における技術者養成というシステムを補完するためのサークル。自分にはこれが不満でした。というのも、私が興味があったのは「歴史とは何か」という根本的な問題です。歴史叙述という行為は「盛られる」もので、それを行うのは時の為政者だけでなく、大衆の側も共犯関係にあります。誰も自分の都合のよい方向に歴史を叙述しようという意図を働かせるし、それに気づくことはいないので。考古学は、遺跡や遺物から、理論を構築するという文献史とは方法論が異なる学問であり、そこに大きな可能性があるはず。ところが、実際には珍しい出土品ばかりが目立って、考古学者の実態は、遺跡を発掘するための作業員に過ぎない。その結果が後の旧石器発掘事件につながるわけです。

尾上 本当に悪いと思います。でも、もう大人なので、いきなり小説家は無理だろう。べらひの知恵はありましたから、友人の風俗ライター・深苗義也さんに相談してみたんです。そしたら「あ、俺、今いる編集プロダクション辞めるから、代わりに入れよ」といわれて、即座に入社しました。

尾上 具体的なことは？
尾上 一人も、やっぱりちよっとと老けた顔のメガネ男が「君、唯物論を語らないか？」と声をかけたところで、変人扱いされるだけでした。
尾上 しかし、学生時代からかなり奇抜な印象は受けますね。いつ頃から現職のルポライターを選ばれたのですか。
尾上 そのデジカメも先日の取材で壊れてしまいましたね(笑)。
こうしてルポライターの道を歩みはじめたワケなんです。仕事の中で大変だったことなど伺わせていただけたいと思います。

尾上 一人も、やっぱりちよっとと老けた顔のメガネ男が「君、唯物論を語らないか？」と声をかけたところで、変人扱いされるだけでした。
尾上 しかし、学生時代からかなり奇抜な印象は受けますね。いつ頃から現職のルポライターを選ばれたのですか。
尾上 そのデジカメも先日の取材で壊れてしまいましたね(笑)。
こうしてルポライターの道を歩みはじめたワケなんです。仕事の中で大変だったことなど伺わせていただけたいと思います。

尾上 大変なことじゃないですよ。デ王の取材にいけば、参加者と機動隊の両方から殴られる。と思えば、いろんな勢力に脅迫されたり...。
石原慎太郎前東京都知事になんか、幾度も「このバカ」と怒鳴りつけられていますよ。しまいは、向こうも「またコイツか...」みたいな顔を。そこまでやっちゃうと石原さんの人となりかわかって、記事が深みを帯びるようになってきます。石原さんのもとで副知事をやっていた猪瀬直樹さんは、最初取材に応じてくれず「(財政難で苦しんでいる)夕張市で雪かきをしてきたら、取材に応じてやる」というので、夕張まで行って雪かきをしてきました。すると、仲良くなって色々ご指導をいただいたりあります。

尾上 なかなか無茶な要求をする猪瀬副知事ですが、それを実践する昼間さんもおもたないですかね。私なら「やりましたー」と嘘をついて終わりですね。
ここで、先日出版された「これぞいいのかシリーズ」について伺わせてください。

尾上 縁あって、シリーズの第一作「東京都 足立区」に参加して以来、杉並区、大田区などを執筆させていたんですが、大田区の一見、おちよこつていたように見えますが、実際には「真をついて」と、地域の住民からの評価は高いようです。それでも、編集部にはもっと詳しく書け」と電話してくる人もいます。た、これも偏った意見であることがほとんどですが。

尾上 縁あって、シリーズの第一作「東京都 足立区」に参加して以来、杉並区、大田区などを執筆させていたんですが、大田区の一見、おちよこつていたように見えますが、実際には「真をついて」と、地域の住民からの評価は高いようです。それでも、編集部にはもっと詳しく書け」と電話してくる人もいます。た、これも偏った意見であることがほとんどですが。

尾上 縁あって、シリーズの第一作「東京都 足立区」に参加して以来、杉並区、大田区などを執筆させていたんですが、大田区の一見、おちよこつていたように見えますが、実際には「真をついて」と、地域の住民からの評価は高いようです。それでも、編集部にはもっと詳しく書け」と電話してくる人もいます。た、これも偏った意見であることがほとんどですが。

尾上 縁あって、シリーズの第一作「東京都 足立区」に参加して以来、杉並区、大田区などを執筆させていたんですが、大田区の一見、おちよこつていたように見えますが、実際には「真をついて」と、地域の住民からの評価は高いようです。それでも、編集部にはもっと詳しく書け」と電話してくる人もいます。た、これも偏った意見であることがほとんどですが。

尾上 縁あって、シリーズの第一作「東京都 足立区」に参加して以来、杉並区、大田区などを執筆させていたんですが、大田区の一見、おちよこつていたように見えますが、実際には「真をついて」と、地域の住民からの評価は高いようです。それでも、編集部にはもっと詳しく書け」と電話してくる人もいます。た、これも偏った意見であることがほとんどですが。

道を選んだきっかけ

尾上 大学時代から「一生ずーっと大学生をやって高等遊民として暮らしていかないか」と思って、就職活動は一切していなかったんです(笑)。一応は考古学専攻だったので卒業の数カ月前になって、院生の先輩の紹介で民間の遺跡調査会社というところに入りまして。ところが、これがとんでもない会社だったんです。社長は本物の右翼で、某国の反政府グループに義勇兵を送り込んでいた。かと思ったら上司が不正経理をやっていて、いきなり飛び出した。発掘した遺物の整理の仕事で土器が多数行方不明という、とんでもない事件が起きて、私が泥を被ってクビになりました。退職金は10万円でした。その後コールセンターで働き始めました。給与・待遇などそれなりに恵まれた環境だったんですが、マニユアル通りに答えるだけの仕事というのが性に合わなかったんです。そこで「小説家になれば、毎日楽しいんじゃないか」と思いついたので。

在校生へのメッセージ

尾上 では最後に在校生に向けて、大学時代にこれだけはやっておくべきことなどを教えてください。
尾上 大学時代にやっておくべきことがあるとすれば、「世界一周」と「学生運動」のどちらかです。
尾上 また無茶なことを言いますね。
尾上 仕事は失うものですよ。会社は潰れるもの。人生にどうもっても価値のあるものは「人脈」です。他人にはない人脈は、財産になります。それを得る最良の手段は「世界一周」と「学生運動」です。
この話を聞いて人生の大バクチを打ちたいなら、私のいる業界ほど適したものはありません。ここに夢をかけたのなら、是非連絡を下さい。連絡先？ そんなものは、自分で探してください。
尾上 昼間さんはどう言っているものなの面見はともない人ですか。同じ志を持つ人は連絡をお待ちしています。もちろん問い合わせ先は自分で調べてください。

在籍生へのメッセージ

尾上 縁あって、シリーズの第一作「東京都 足立区」に参加して以来、杉並区、大田区などを執筆させていたんですが、大田区の一見、おちよこつていたように見えますが、実際には「真をついて」と、地域の住民からの評価は高いようです。それでも、編集部にはもっと詳しく書け」と電話してくる人もいます。た、これも偏った意見であることがほとんどですが。

※1 インターネットや強者の世界ではなく、実際に充実した生活を送りたいこと。
※2 この場合は自分と接点が高い女性

謹賀新年 2013

祝

法学部・硬式野球部OB セガサミー 外野手 赤堀大智さん 横浜DeNAベイスターズ 入団 おめでとう



全国の卒業生の皆様、あけましておめでとうございます。立正大学は開校から140年を迎え、歴史と伝統のもと新たな一歩を踏み出しました。立正大学同窓会も大学とともに、諸先輩方が築き上げてきた同窓会をより一層発展させ、新たな一歩を踏み出します。2013年が全国でご活躍の卒業生の皆様にとって最良の年になりますよう、ご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



立正大学同窓会

会長 ●野坂法雄 創立 ●昭和35年(1960) 会員数 ●約12万人 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 電話 ●03(3493)6673 http://www.ris.ac.jp

今こそ立正の底力を、発揚すべき時



野坂法雄 明けておめでとうでございます。今、この原稿を書いている時、政界は「解散しろ」「そのことは私が決めることだ」等と喧しく言いたてており、これが発行される頃には日本はどうなっているのか心配を過り過ぎて情けなしい限りです。戦後六十八年目を迎える我が国の状況は、全く不透明です。

「少欲知足」という言葉を、最近よく目にし耳にします。「人間あまり欲をかいてはいけないよ、欲望を限りなく膨らませると、必ず苦しむことになる」とお釈迦さまが仰言っています。不況だが、国境問題とか、多くの課題を背負っている野田内閣(平成二十四年十一月十日現在、他にもまだまだ問題山積みです。我々日本人はまだまだ恵まれていますが、世界を見渡した時、自爆テロ、核

開発、隣国との戦い、政治に対する不満・抗議・暴動等々恐ろしい現象が数多く発生しています。このような時に、私たちが一番頼りになるのは日蓮聖人の「立正・安国」……正しきを行ない、社会・国民を安穩に導く、この言葉です。当時(鎌倉時代) 乱れに乱れ、荒れに荒れしていた世相を嘆き、幕府を諷刺する論文・立正安国論を奏上されました。

この立正という高邁な名をいたたく、我が校の果たすべき役割は重要かつ大なるものがあります。立正大学は時代の要請に応えて、今こそ願われた使命を果たすべき時なのです。幸いなことに、今、日本人の見識ある人々は何とかがこの国を建て直し、世界を、地球を救わなければならない、と真剣に考えています。このような時代に生まれ合わせた者として、このことを少しでも前進させなければなりません。

先師、先哲が築き上げてきた立正大学の歴史、就中、今私がお預かりしている同窓会を立正大学を支える土台として、確固たる組織に構築すべく取り組んでまいります。

マリスト×エキスパートを輩出し、世の中を、否、世界を救う人材が我が校に求められています。しかし、このことを成就させる為には多くの困難を克服しなければなりません。決して容易なことではないことを重々覚悟しています。

本年はその第一歩を踏み出す予定です。どうか皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年度第2回 大学同窓会代議員会開催

12月15日(土)に大崎キャンパス・326教室にて、平成24年度第2回代議員会が開催され、平成25年度大学同窓会定期総会開催について審議が行われました。

静岡県高野連新理事長に木村政彦氏が就任

卒業生の木村政彦氏(昭和56年経済学部卒業・県立沼津商業高校教諭)が静岡県高等学校野球連盟理事長に就任しました。

活躍する卒業生

『立正の顔』

日本の国民的スポーツといえば、その露出度と注目度の高さからプロ野球があげられる。現在、立正大学OBでプロで活躍する選手は5人。

昨年の日本シリーズに出場し、敗れたが好投を見た北海道日本ハムファイターズ武田勝投手(背番号38)を筆頭に、2009年大学日本一の立役者となった千葉ロッテマリーンズ南昌輝投手(背番号33)は、フレッシュオールスター後の7月後半から一軍に昇格、初勝利を得るなど中継ぎとして経験を積みあげてきている。

さらにベテランでは、埼玉西武ライ



ファンからのサインに丁寧に応じる千葉ロッテマリーンズ南昌輝投手

オンズ西口文也投手(背番号13)の秀逸ともいえる投球術や同じライオンズにおいて新人ながら個性ある技巧派左腕として登板を重ねた小石博孝投手(背番号29)は、さらに身体を鍛え上げての快投が望まれる。

また打者では、前年にドラフト4位で指名を受けた横浜DeNAベイスターズ赤堀大智外野手(セガサミー)は、その広い守備と強肩豪打でチーム

の期待も大きい。

これらの選手をよく見れば、それぞれが「立正の表情」をしている。というは、優しさの中にも強い信念を有するともいえる顔をしているのである。プロの厳しい勝負の世界において、この情緒を持ちながらの投球は、ときに観衆の感動を誘っている。これは立正大学の4年間にしっかりと育まれた伝統と、熊谷校舎の野球場そして神宮球場のフィールドで培われてきた東都リーグそれが拍子打つこと。今春からは札幌ドームや幕張メッセ、西武ドームに横浜スタジアムをはじめ、各遠征先のアウェイ球場などに応援に駆け付け、OB選手達の躍動に



守備範囲が広く俊足強肩しかも豪快なバッティングで横浜DeNAベイスターズに4位指名されて入団した赤堀大智外野手(2009年撮影)

触れて一言「憂、ほのぼのとした良き時間を過ごしたいものだ。」(スポーツジャーナル「スポーツ」岩瀬孝文、文芸春秋) 文芸春秋



竹中直人監督最新作、映画「R-18文学賞 vol.1 自縛自縛の私」公式サイト http://www.r18-jijobaku.com/

脚本家・小説家 高橋美幸さん(文学部国文学科卒業) 脚本 竹中直人監督作品映画 『R-18文学賞 Vol.1 自縛自縛の私』ロードショー

6月30日に熊谷キャンパスで開催された2012年度の校友の集いの講演会で講演して頂きました。高橋美幸(文学部国文学科卒業)さん脚本、竹中直人監督による映画「R-18文学賞 vol.1」自縛自縛の私」が2013年2月2日(土)より新宿バルト9、ヒューマンストアストリネマ渋谷ほか全国ロードショーされます。

平成24年度立正大学短期大学部、保育専門学校同窓会役員研修会

10月21日(日)群馬県みなかみ町にて、役員研修会が開催されました。

研修会では、短期大学部・保育専門学校同窓会監事・社会福祉学部教授清水海隆先生に「立正大学の沿革」について講演を頂き、立正大学は、歴史と伝統のある大学で起源は遠く安土桃山時代天正8(1580)年に遡り、日本の数ある大学の中でも最も歴史と伝統のある大学の一つで、その創設(日蓮宗の教育機関「飯高檀林」)に始まり現在までの沿革を学びました。

明治5(1872)年、明治政府の宗教政策に対応するために、東京二本樓に日蓮宗小教院が設立され、この設立をもって立正大学創立の直接の起点として位置づけられたことを学び、ともに、立正大学短期大学部・保育専門学校校の動向、昭和25(1950)年短期大学部宗教科・社会科・商経科II部を大崎に設置。昭和41(1966)年熊谷に商経科II部開設、昭和43(1968)年熊谷に社会科開設(大崎より移転)。昭和44(1969)年保育専門学校設置から平成8(1996)年短期大学部改組までの経緯と、その後の社会福祉学部設置から現在までの経緯の説明がなされ大変興味深い講演となりました。

講演後、多数の質疑応答も交わされ、また現在の同窓会の在り方や今後の同窓会活動について活発な意見交換が行われました。研修会は盛況の内にと終了し、役員各自が刺激を受けた今回の研修は、初期の目的を達成することができ、十分な成果を収めることになりました。

今回の研修会を通して、今後の同窓会運営に役立てていくべく、役員一同益々の研鑽を積み、同窓会活動の発展に貢献したいと考えております。



校友の広場 NEWS&TOPICS

同窓会・卒業生・校友の皆さまのニュースの広場です

開催レポート

●地域在住卒業生交流会

【**岩手県**】9月8日(土)・盛岡市：エスポワールいわて◆総会・講演会・懇親会◆講演会〔演題〕郷土史にみる思いやり〔講師〕佐藤善士氏(郷土史家・文学部史学科卒業)◆〔出席〕栗田校友課長・校友課員



佐藤善士氏



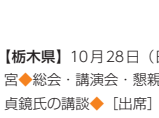
【**富山県**】9月9日(日) 富山市：富山県民会館◆総会・講演会・懇親会◆講演会〔演題〕全国青年市長会派遣 陸前高田市での復興支援活動について〔講師〕山崎喜弘氏(経営学部経営学科卒業)◆〔出席〕栗田校友課長・校友課員



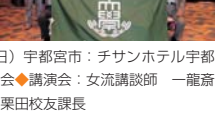
山崎喜弘氏



【**新潟県**】9月15日(土) 上越市：ホテルハイマート◆研修会・総会・懇親会◆研修会：上越方面の名所探訪◆〔出席〕栗田校友課長・校友課員



栗田校友課長



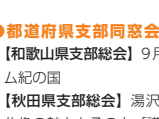
【**栃木県**】10月28日(日) 宇都宮市：チサンホテル宇都宮◆総会・講演会・懇親会◆講演会：女流講師 一龍斎貞鏡氏の講演◆〔出席〕栗田校友課長



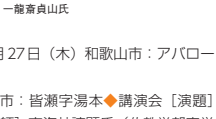
宮澤洋介氏



【**長野県**】11月17日(土) 松本市：第一会館◆研修会・総会・講演会・懇親会◆研修会：国宝松本城見学◆講演会〔演題〕長野県自然災害とその伝承〔講師〕宮澤洋介氏(文学部地理学科卒業)◆〔出席〕栗田校友課長



一龍斎貞鏡氏



●都道府県支部同窓会

【**和歌山県支部総会**】9月27日(木) 和歌山市：アパローム紀の国

【**秋田県支部総会**】湯沢市：皆瀬字湯本◆講演会〔演題〕仏像の魅力とその力〔講師〕東海林諦顕氏(仏教学部宗学科卒業)

【**神奈川県支部・鎌倉散策**】10月21日(日) 鎌倉散策〔講師〕街道研究家益田尚久氏(経済学部経済学科卒業)

【**千葉県支部・秋のハイキングツアー**】10月27日(土)「千葉市の歴史を訪ねて」散策

【**愛知県支部総会**】11月11日(日) 名古屋：名鉄ニューグランドホテル TAIKOU

【**愛媛県支部総会**】12月8日(土) 松山市：白魂

【**山口県支部総会**】12月1日(土) 山口市：葉香亭◆講演会：〔演題〕山口県文書館と文書管理〔講師〕吉本一雄氏(元山口県文書館・文学部史学科卒業)

【**香川県支部総会**】12月21日(金) 高松市：神童ろ(わらじろ)◆講演会：〔演題〕さめぎの獅子舞〔講師〕溝渕茂樹氏(元讃岐民族資料館勤務・文学部史学科卒業)

●学部同窓会

【**地球環境科学部同窓会環境システム学科学イベント**】11月3日(土) 立正大学熊谷キャンパス◆交流会◆フィールドワーク：〔講師〕地球環境科学部米林伸教授(地球環境科学部長)・〔テーマ〕荒川中流域の植生

【**地球環境科学部同窓会総会**】11月24日(土) 品川区：本格九州居酒屋一発屋五反田本店

【**地球環境科学部同窓会地理学科学イベント**】11月25日(日) 台東区：墨田区にみる今昔物語＝川・銭湯・問屋・ものづくり＝◆巡検・懇親会◆〔講師〕原美登里准教授・貝沼恵美特任講師

【**経営学部同窓会ホームカミングデー**】経営学部と協賛 12月15日(土) 大崎キャンパス1151教室(講演会)・学生食堂(ホームカミングデー)◆今年度で退職される池上和男教授と加藤吉則教授の講演会が行われました。

【**立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)研修会・在校生支援活動報告**】立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)では、8月17日(金)に第1回研修会として栃木県足利市にある知的障害者施設「こころ学園」と足利学校を見学しました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換ができ、有意義な研修となりました。

またBellの会では、現役学生への支援活動も行っており、今年度も教員採用試験対策の研修会を開き、卒業生による指導もあり社会福祉学科から現役で12名の学生が公立学校教員採用試験に合格しました。

今後も研修会を随時実施していく予定です。

写真は、11月23日(金)に熊谷キャンパスで第2回研修会が開かれ、堺正一教授による紙芝居実践講習会が行われたときの様子です。

【**立正大学体育会自動車部OB会**】10月6日(土)に三年振りの立正大学体育会自動車部OB会を、五反田の東興ホテルにて開催しました。楽しいひと時を懐かしい顔ぶれと共に過ごすことができました。

【**立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)研修会・在校生支援活動報告**】立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)では、8月17日(金)に第1回研修会として栃木県足利市にある知的障害者施設「こころ学園」と足利学校を見学しました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換ができ、有意義な研修となりました。

またBellの会では、現役学生への支援活動も行っており、今年度も教員採用試験対策の研修会を開き、卒業生による指導もあり社会福祉学科から現役で12名の学生が公立学校教員採用試験に合格しました。

今後も研修会を随時実施していく予定です。

写真は、11月23日(金)に熊谷キャンパスで第2回研修会が開かれ、堺正一教授による紙芝居実践講習会が行われたときの様子です。

【**立正大学体育会自動車部OB会**】10月6日(土)に三年振りの立正大学体育会自動車部OB会を、五反田の東興ホテルにて開催しました。楽しいひと時を懐かしい顔ぶれと共に過ごすことができました。

【**立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)研修会・在校生支援活動報告**】立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)では、8月17日(金)に第1回研修会として栃木県足利市にある知的障害者施設「こころ学園」と足利学校を見学しました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換ができ、有意義な研修となりました。

またBellの会では、現役学生への支援活動も行っており、今年度も教員採用試験対策の研修会を開き、卒業生による指導もあり社会福祉学科から現役で12名の学生が公立学校教員採用試験に合格しました。

今後も研修会を随時実施していく予定です。

写真は、11月23日(金)に熊谷キャンパスで第2回研修会が開かれ、堺正一教授による紙芝居実践講習会が行われたときの様子です。

【**立正大学体育会自動車部OB会**】10月6日(土)に三年振りの立正大学体育会自動車部OB会を、五反田の東興ホテルにて開催しました。楽しいひと時を懐かしい顔ぶれと共に過ごすことができました。

【**立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)研修会・在校生支援活動報告**】立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)では、8月17日(金)に第1回研修会として栃木県足利市にある知的障害者施設「こころ学園」と足利学校を見学しました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換ができ、有意義な研修となりました。

またBellの会では、現役学生への支援活動も行っており、今年度も教員採用試験対策の研修会を開き、卒業生による指導もあり社会福祉学科から現役で12名の学生が公立学校教員採用試験に合格しました。

今後も研修会を随時実施していく予定です。

写真は、11月23日(金)に熊谷キャンパスで第2回研修会が開かれ、堺正一教授による紙芝居実践講習会が行われたときの様子です。

【**立正大学体育会自動車部OB会**】10月6日(土)に三年振りの立正大学体育会自動車部OB会を、五反田の東興ホテルにて開催しました。楽しいひと時を懐かしい顔ぶれと共に過ごすことができました。

【**立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)研修会・在校生支援活動報告**】立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)では、8月17日(金)に第1回研修会として栃木県足利市にある知的障害者施設「こころ学園」と足利学校を見学しました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換ができ、有意義な研修となりました。

またBellの会では、現役学生への支援活動も行っており、今年度も教員採用試験対策の研修会を開き、卒業生による指導もあり社会福祉学科から現役で12名の学生が公立学校教員採用試験に合格しました。

今後も研修会を随時実施していく予定です。

写真は、11月23日(金)に熊谷キャンパスで第2回研修会が開かれ、堺正一教授による紙芝居実践講習会が行われたときの様子です。

【**立正大学体育会自動車部OB会**】10月6日(土)に三年振りの立正大学体育会自動車部OB会を、五反田の東興ホテルにて開催しました。楽しいひと時を懐かしい顔ぶれと共に過ごすことができました。

【**立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)研修会・在校生支援活動報告**】立正大学特別支援教育教師の会(通称「Bellの会」)では、8月17日(金)に第1回研修会として栃木県足利市にある知的障害者施設「こころ学園」と足利学校を見学しました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換ができ、有意義な研修となりました。

またBellの会では、現役学生への支援活動も行っており、今年度も教員採用試験対策の研修会を開き、卒業生による指導もあり社会福祉学科から現役で12名の学生が公立学校教員採用試験に合格しました。

今後も研修会を随時実施していく予定です。

●文学部地理学科熊谷第1期生同窓会

11月10日(土)に大崎キャンパス会議室にて、「立正大学文学部地理学科熊谷1期生同窓会」を開催しました。



●お楽しみ話芸の世界第13回であい寄り

11月17日(土)に渋谷区・蓮光山妙圓寺にてお楽しみ話芸の世界第13回であい寄りを開催しました。



キャンパス ニュース

■2012年10月12日お会式行脚

10月12日に仏教学部生による大崎キャンパスから大田区池上本門寺までの行脚が行われました。



■平成24年度立正大学校友会奨学生第2期採用証書交付式

立正大学校友会奨学生第2期採用の22名が決定し、12月20日(木)に採用証書交付式を行いました。

■校友会在校生支援事業 特別講座開催 = 立正大学FP(ファイナンシャル・プランナー)養成講座 =

立正大学では、将来設計をするために必要な基礎的知識を実務経験者から習得できる講座をソニー生命保険株式会社様のご協力により、全8回の講座を開催しました。



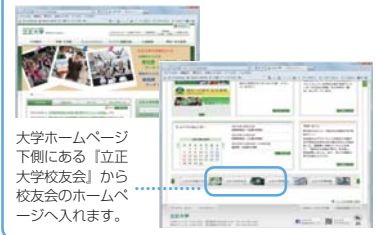
BOOK & WORK

立正大学準硬式野球部40周年記念誌「球跡」を発行しました
(立正大学準硬式野球部40周年編集委員会・立正大学準硬式野球部OB会)
平成24年10月発行/非売品
【お問い合わせ】
立正大学準硬式野球部OB会
会長 齋藤雅夫氏
秋田県大館市字代野222-2
電話：0186-48-2976



立正大学ホームページが新しくなりました

大学ホームページ下側にある「立正大学校友会」から校友会のホームページへ入れます。



INFORMATION

2012年度校友会費B(卒業生・現元教職員会費)のご案内

7月1日発行の立正大学校友会報のご案内させて頂きました校友会費B(卒業生・現元教職員会費)へのご協力をお願い申し上げます。

ご納入は、専用振込用紙にてコンビニエンスストアまたはゆうちょ銀行よりお願い申し上げます。

また、下記口座にて承っております。皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行
[口座番号]
00100-0-417250
[加入者名]
立正大学校友会
[金額]
3,000円



大崎キャンパス

校友会会員ご登録のご案内

校友会では卒業生会員の皆様と大学・学部の公開講座、校友会報や学園新聞、同窓会本部・お住まいの地域の同窓会行事案内などをお届けしています。皆様のご登録をお待ち申し上げます。

新規ご登録

◆氏名◆学部学科名、課程・専攻名◆卒業・修了年(〇〇年3月/9月)

◆現住所◆Eメールアドレス◆勤務先または職業

変更届

◆氏名◆現住所◆Eメールアドレス◆勤務先または職業◆校友会会員番号(校友会報・学園新聞封筒宛名ラベルの番号)をご記入下さい。

お届け先

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

立正大学学長室校友課 FAX: 03(3493)9068

Eメール: alu@ris.ac.jp

■専用用紙は立正大学校友会ホームページからダウンロードできます。

教職員訃報

[平成24年9月～平成24年12月]

名誉教授 榎本満生氏(平成24年10月11日逝去)

元法学部教授 菊池清勝氏(平成24年11月17日逝去)

名誉教授 正井泰夫氏(平成24年11月20日逝去)

謹んで哀悼の意を表します

お知らせください

卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら下記までお知らせください。

【学長室校友課 ☎03(3493)6673・Email: alu@ris.ac.jp】